

希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 27 年 10 月 27 日発行

第 25 号

発行人 教頭 神吉 満

素敵な学習発表会でした

先週の学校だよりでお知らせしたように、10月24日（土）に学習発表会を行いました。自分たちでつくった3つのめあて「楽しんで 動きや声を堂々と」「教え合い 相手の良さを伝えよう」「リアクション 涙も笑いも大切に」を意識して、本番にも臨むことができました。

ここで詳しく紹介することはできませんが、劇も太鼓も、それぞれの学年らしさがでた、素敵なものとなりました。

終りの言葉の中で、生徒会長は「今年の私たちの児童生徒会学校目標は『一人一人を大切にみんな大好きファミレンジャー』です。（中略）この行事を通して、

私たちはファミレンジャーに近づけました。これからがんばっていきますので、応援よろしくをお願いします」

と話していました。児童会長は、

「私は、今年の学習発表会で、協力することの大切さを学びました。（中略）みなさんも学習発表会を通して学んだことがあるはずです。そのことをこれからの学校の生活にいかせるようにがんばりましょう」

と話していました。

この二人の言葉にあるように、子どもたちは行事を通して学び、その学んだことをこれからの生活にいかしていこうと考えています。子どもたちの生活がこれからどのように変わっていくのか、今から楽しみです。

私は、本校で学習発表会に関わるのが3回目となります。そして、毎回思うことは、会場の雰囲気のスバラシさです。会場の全員が、すべての出し物を真剣に見ています。そして、そこにあたたかいリアクションがあります。

舞台上立つ子どもたちは、「劇のメッセージがちゃんと伝わるかな」「失敗せずに上手く演じることができるかな」「笑わせるシーンで本当に笑ってもらえるかな」と、不安を抱えています。演じる前は、表情にも硬さがあります。それが、会場からのあたたかいリアクションにふれると、その硬さもとれ、自信に満ちた表情



5・6年 「夢から醒めた夢」



3・4年 「ありがとうの花」



1・2年 「スイスイ、スイミー」

にかわってきます。そして、劇を演じ終わったあとには、達成感に満ちた表情にかわっています。

子どもたちは、成功体験を積み重ねることで自信をもって成長していきます。そして、今回の学習発表会で、成功体験をつくる要因の1つは会場の皆様のあたたかいリアクションでした。そういうあたたかさがあるチューリッヒ日本人学校は、本当に素敵な学校だと思います。

これからも子どもたちの成長を願い、あたたかいまなざしで見守っていただけるとありがたいと思います。

最後になりますが、先週の土曜日の舞台設営や当日の舞台の搬出のお手伝いありがとうございました。おかげさまで今年度も素敵な学習発表会を実施することができました。今後ともご協力お願いいたします。



中学部「第三次大人子ども戦争」
～大人になるって?～



全校 太鼓演奏

11月の主要予定

- 2日(月) 全校朝会
- 3日(火) クラブ
- 4日(水) 読み聞かせ会
- 5日(木) JS タイム
- 6日(金) 小3・4ピュント校交流③ 児童生徒総会⑤ 中2職場体験学習事前訪問⑥クラブ
- 9日(月) オープンドア週間 ~13日(金)
- 10日(火) クラブ
- 12日(木) 学級懇談会(小3・4、中学部) JS タイム
- 13日(金) 学級懇談会(1・2年、5・6年) クラブ
- 16日(月) 中学部クレメンアッカ校交流②③④
- 18日(水) 中2職場体験学習 小5・6ピュント校交流③
- 19日(木) JS タイム
- 20日(金) 中学部 ベルフスメッセ③~⑥
- 21日(土) スケート場オープニングイベント太鼓演奏
- 23日(月) 中学部期末テスト~26日(木)
- 25日(水) 月例情報交換会
- 26日(木) ウスターマルクト
- 27日(金) ウスターマルクト(11:10下校)